

**問1** ドイツ出身の女性思想家は、人間の能動的な営みを、生命維持に必要な消費財を生み出す営み、道具や作品を製作する営み、そして他者と言葉を交わし合いながら複数性の中で自己を表現する営みの3つに分類した。このうち、公共的な空間を形成する上で最も重要とされる、3つ目の営みを何と呼ぶか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 労働                                      2. 仕事                                      3. 活動                                      4. 観照

**問2** 功利主義の立場において、ベンサムが法律や世論といった外部からの強制力を重視したのに対し、その修正を試みた思想家は、他者への同情や共感といった社会的感情に根ざす、自己の良心の痛みによる強制力を重視した。この強制力を何と呼ぶか。 （2026年 全国公立入試 類似）

1. 物理的制裁                              2. 道徳的制裁                              3. 外面的制裁                              4. 内面的制裁

**問3** 第二次世界大戦中の強制収容所における体験をもとに、人間が組織的な目標のために数量化され、個人の存在が蔑ろにされる極限状態を分析したオーストリアの精神医学者は誰か。彼は、過酷な状況下でも人間は「生きる意味」を問いかけ、それに応える責任を持つ存在であると説いた。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. フランクフル                              2. ヤスパース                              3. サルトル                              4. ハイデガー

**問4** 和辻哲郎は著書『風土』において、人間の精神構造が自然環境によって規定されると論じた。彼は、ヨーロッパに見られるおだやかで従順な自然を「牧場型」と呼んだのに対し、日本を含む東アジアに見られる、湿潤で恵み豊かであるが、同時に台風や洪水などの激しい暴威を振るう自然環境を何型と呼んだか。 （2026年 全国公立入試 類似）

1. モンスーン型                              2. 牧場型                              3. 砂漠型                              4. 台風型

**問5** アメリカ合衆国において、信用力の低い個人向けに貸し出された高金利の住宅ローンが、住宅価格の下落に伴って焦げ付き、これを組み込んだ金融派生商品の価値が暴落した。この事態は世界中の金融機関に深刻な打撃を与え、2008年の世界金融危機の引き金となった。この一連の金融問題を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. ブラックマンデー                              2. アジア通貨危機                              3. サブプライムローン問題                              4. リーマン・ショック

**問6** 日本国憲法において、すべて国民が法的に等しく扱われるべきであることを定め、人種、信条、性別、社会的身分、あるいは門地によるあらゆる差別を禁止している基本原則を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 結果の平等                              2. 法の下での平等                              3. 実質的平等                              4. 機会の平等

**問7** 国家権力を複数の機関に分立させることで、権力の集中と濫用を防ぎ、市民の自由を保障する政治システムを提唱したモンテスキューの代表的な著書は何か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 法の精神                              2. 社会契約論                              3. 統治二論                              4. 百科全書

**問8** 現代の社会保障をめぐる議論において、資産調査や所得制限などの条件を設けず、また事前の保険料抛出も求めずに、すべての社会構成員に対して無条件で一律に現金を給付するという政策構想が提案されることがある。このような、個人の生存権を保障するために無条件で最低限の生活費を支給する制度構想を何というか。 （2026年 全国公立入試 類似）

1. ナショナル・ミニマム                              2. ベーシック・インカム                              3. ベーシック・サービス                              4. ネガティブ・インカム

**問9** 主観的な目的を達成するための手段として他者を操作する「道具的理性」に対し、公共空間において他者と対等な関係で議論を交わし、共通の理解に達するために求められる理性を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 批判的理論                              2. 対話的理性                              3. 目的合理的                              4. 道具的理性

**問10** 青年期の発達過程において、独自の価値観や人生観を模索し、精神的な自立を遂げるために、親や年長者、あるいは既存の社会的権威に対して反発や否定的な態度を示す時期を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 第二反抗期                              2. 自我同一性                              3. 心理的離乳                              4. 自己同一性

## 答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 3 活動	アーレントは『人間の条件』において、人間の能動的な生（ヴィタ・アクティヴァ）を「労働」「仕事」「活動」の3つに分類した。「労働」は生物的生命維持のための営み、「仕事」は人工的な事物を製作する営みである。これらに対し、「活動」は言葉を通して他者と関わり合う営みであり、多様な人々が共存する公共空間を形成するために不可欠なものとして位置づけられた。
問2	答え 4 内面的制裁	ベンサムは物理的・政治的・道徳的（世論）・宗教的な4つの「外面的制裁」を重視したが、J. S. ミルはこれらに加えて、義務に背いたときに心の中に生じる痛みや良心の呵責である「内面的制裁」を、道徳的行為を促す究極の強制力として重視した。
問3	答え 1 フランクル	アウシュヴィッツ強制収容所での体験を『夜と霧』に著したオーストリアの精神医学者である。彼は、人間が単なる環境の犠牲者ではなく、どのような限界状況にあっても自らの態度を決定する自由（精神的自由）を持ち、人生からの問いかけに対して責任を持って応える存在（ロゴセラピーの基礎）であると主張した。
問4	答え 1 モンスーン型	和辻哲郎は、人間の存在のあり方を規定する風土を3つのタイプに分類した。そのうち、東アジアから南アジアにかけての地域は、湿気と暑さがもたらす豊かな恵みと、突発的な自然災害という二面性を持つ。この気候的特徴から名付けられた風土において、人々は自然に対して従順かつ受容的な精神性を形成するとされた。
問5	答え 3 サブプライムローン問題	アメリカ合衆国では2000年代半ばにかけて住宅バブルが進行し、返済能力の低い低所得者層を対象とした高金利の住宅ローンが多く組まれた。しかし、住宅価格の下落に伴ってローンの債務不履行（焦げ付き）が急増した。このローンを組み込んだ証券化商品（金融派生商品）が世界中の金融機関に販売されていたため、その価値の暴落は世界的な信用収縮を招き、2008年のリーマン・ショックをはじめとする世界金融危機へと発展した。
問6	答え 2 法の下での平等	日本国憲法第14条第1項は「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。」と規定している。これは国家による不合理な差別を禁止し、法的な平等を保障する基本原則である。家族生活における個人の尊厳と両性の本質的平等を定めた第24条など、憲法における他の平等規定の根幹をなすものである。
問7	答え 1 法の精神	1748年に出版されたこの著作において、モンテスキューは法の性質や政体について論じ、権力分立（三権分立）の必要性を説いた。この思想は、近代憲法における権力分立の原則の基礎となった。
問8	答え 2 ベーシック・インカム	すべての人に対して無条件に現金を給付する考え方は、ユニバーサルな社会保障の典型例であり、ベーシック・インカムと呼ばれる。これは、特定の要件や保険料支払いを前提とする社会保険や、資産調査を伴う選別的な公的扶助とは異なり、すべての個人に無条件で最低限の生活費を支給するアイデアである。
問9	答え 2 対話的理性	ハーバーマスは、近代の合理主義が手段の効率性ばかりを追求する「道具的理性」に陥ったことを批判した。これに対し、他者との対等なコミュニケーションを通じて相互理解と合意形成を可能にする理性のあり方を提示した。
問10	答え 1 第二反抗期	青年期には、他者への依存から脱却し、自己の主体性を確立するプロセスとして、親や年長者、社会的権威に反抗する時期が見られる。これは幼児期の第一反抗期に対して、精神的な自立を目指す重要な発達段階として位置づけられている。